



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月12日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
コード番号 9903 URL <https://www.kanseki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大田垣 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 熊澤 達郎 (TEL) 028-659-3112
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	17,947	—	△31	—	△37	—	△59	—
2023年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期第2四半期	△7.92		—					
2023年2月期第2四半期	—		—					

(注) 当社は、2023年2月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、2023年2月期第2四半期の経営成績(累計)および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第2四半期	百万円 30,370	百万円 11,052	% 36.2
2023年2月期	29,582	11,155	37.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 11,004百万円 2023年2月期 11,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 24.00
2024年2月期	—	0.00			
2024年2月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年2月期2Q	8,050,000株	2023年2月期	8,050,000株
2024年2月期2Q	593,922株	2023年2月期	593,922株
2024年2月期2Q	7,456,078株	2023年2月期2Q	7,045,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年3月1日から2023年8月31日まで)における我が国経済は、為替相場の変動やウクライナ情勢の長期化、中国経済の成長鈍化等の地政学的影響等により、資源やエネルギー、食料品価格の高騰など経済情勢の先行きは不透明な状況にあります。

この様な中、当社はこうした変化に適切に対応することで持続的な成長を実現し、当社が掲げるビジョン「お客様、地域社会、そして共に働く仲間によりそう『スマイル』創造企業」を目指してまいりました。

営業面では、ペット用品、植物・園芸関連商品やフィッティング・クロージング・フィッシング関連商品などのアウトドア用品、業務スーパーが提供するお買い得な食品などの売上は堅調に推移いたしましたが、5類移行によるお客様志向の多様化や記録的な猛暑日が続いたことなどの影響からファミリーキャンプ需要が大幅に落ち込むこととなりました。

設備および経費面では、2023年3月に「WILD-1 宇都宮西川田店(栃木県宇都宮市)」、2023年4月に「WILD-1 市川コルトンプラザ店(千葉県市川市)」及び「業務スーパー東光寺店(栃木県真岡市)」を新規出店したことによる出店費用の増加や電気料の値上げの影響により経費増となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は179億47百万円、営業損失は31百万円、経常損失は37百万円、四半期純損失は59百万円となりました。

(注)当社は第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書に係る比較情報を記載しておりません。

なお、当社の報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、ペット用品や園芸用品、道路交通法改正対応の自転車ヘルメットなどが好調に推移いたしました。しかしながら、春先の気温が高かったことに加え記録的な猛暑日が続いた影響から客数減少が業績に影響を及ぼすこととなりました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、77億86百万円、セグメント利益は、2億12百万円となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、2023年3月に「WILD-1 宇都宮西川田店(栃木県宇都宮市)」を、2023年4月に「WILD-1 市川コルトンプラザ店(千葉県市川市)」を新規出店いたしました。

営業面では、外出機会の増加に関連したシューズ、ザック、クロージングウェア等などの売上が着実に伸長しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和に関連したお客様志向の多様化や猛暑に起因したアウトドア活動への意欲低下などから大幅に売上が落ち込んだこと、円安の進行に連動した原材料高やファミリーキャンプ用品の廉売などにより収益率が低下したこと、新店開店に伴う宣伝費や電気料の高騰による水道光熱費などの販管費が増加したことから、セグメント損失を計上しました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、50億2百万円、セグメント損失は、2億18百万円となりました。

[専門店事業]

業務スーパー店舗では、地域のお祭りやイベントなどの業務需要が回復しつつあり、一般のお客様による利用が継続的に増加しております。

また、設備面において「業務スーパー東光寺店(栃木県真岡市)」を2023年4月に開店いたしました。出店に係るインシヤルコストが発生しているものの、開店後の業績は、計画を大きく上回り、順調に推移しております。

オフハウス店舗では、新型コロナウイルス感染症拡大前の売上高に戻りつつありますが、客数の回復には至っていない状況が続いております。ネットモール(インターネットによる通信販売)に積極的に商品を出品することで売上高の確保に努めました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、52億34百万円、セグメント利益は、3億65百万円となりました。

[店舗開発事業]

店舗開発事業では、アミューズメント施設において、プライズ（景品）ゲームの堅調な人気により、安定した業績で推移いたしました。

また、賃貸物件の物件数も安定してきており、一定の利益水準を確保しております。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、1億82百万円、セグメント利益は、73百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、303億70百万円となり、前事業年度末に比べ7億88百万円の増加となりました。主な要因としては、商品の増加10億89百万円、建物の増加3億1百万円の増加要因によるものであります。

負債は、193億18百万円となり、前事業年度末に比べ8億91百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の増加11億50百万円によるものであります。

純資産は、110億52百万円となり、前事業年度末に比べ1億3百万円の減少となりました。主な要因としては、配当金の支払89百万円及び当第2四半期累計期間において四半期純損失59百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は36.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月5日に公表いたしました「2024年2月期の第2四半期（累計）業績予想の修正及び通期業績予想の修正（取り下げ）並びに2024年2月期の中間配当予想の修正（無配）及び期末配当予想の修正（取り下げ）に関するお知らせ」に記載のとおり、第3四半期以降につきましては、WILD-1事業における主力のキャンプ用品等の売上や在庫調整の状況、コスト面での影響額を合理的に想定することが困難であることから、2024年2月期通期業績予想及び期末配当予想を一旦「未定」とし、今後、合理的な業績予想値の算出が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,248	960,557
売掛金	580,941	599,650
商品	7,980,983	9,070,339
貯蔵品	28,512	20,320
その他	899,854	509,362
貸倒引当金	△130	△99
流動資産合計	10,606,409	11,160,130
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,177,507	3,478,726
土地	9,361,818	9,361,818
その他(純額)	1,197,730	1,065,139
有形固定資産合計	13,737,056	13,905,684
無形固定資産	509,095	541,690
投資その他の資産		
投資有価証券	2,786,486	2,843,512
敷金及び保証金	1,823,193	1,817,192
その他	115,410	89,924
投資その他の資産合計	4,725,090	4,750,629
固定資産合計	18,971,242	19,198,004
繰延資産	4,913	12,771
資産合計	29,582,565	30,370,906
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,604,669	2,656,469
電子記録債務	1,147,865	1,081,955
短期借入金	3,900,000	5,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,533,619	1,565,690
1年内償還予定の社債	600,000	100,000
未払法人税等	111,208	56,453
ポイント引当金	3,762	3,057
契約負債	404,232	450,097
その他	952,166	712,431
流動負債合計	11,257,523	11,676,154
固定負債		
社債	200,000	650,000
長期借入金	5,741,179	5,811,103
退職給付引当金	557,397	548,261
資産除去債務	233,121	262,926
その他	438,144	370,299
固定負債合計	7,169,842	7,642,590
負債合計	18,427,365	19,318,744

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	2,448,680	2,448,680
利益剰余金	5,919,105	5,770,547
自己株式	△389,287	△389,287
株主資本合計	9,904,497	9,755,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,209,073	1,248,371
評価・換算差額等合計	1,209,073	1,248,371
新株予約権	41,628	47,849
純資産合計	11,155,199	11,052,161
負債純資産合計	29,582,565	30,370,906

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	17,947,206
売上原価	13,037,246
売上総利益	4,909,960
営業収入	261,777
営業総利益	5,171,737
販売費及び一般管理費	5,203,161
営業損失(△)	△31,424
営業外収益	
受取利息及び配当金	28,092
補助金収入	11,456
受取保険金	850
その他	10,484
営業外収益合計	50,883
営業外費用	
支払利息	49,846
支払手数料	2,526
その他	4,992
営業外費用合計	57,364
経常損失(△)	△37,905
特別損失	
固定資産除却損	511
特別損失合計	511
税引前四半期純損失(△)	△38,417
法人税、住民税及び事業税	17,131
法人税等調整額	3,535
法人税等合計	20,666
四半期純損失(△)	△59,084

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△38,417
減価償却費	287,435
支払利息	49,846
固定資産除売却損益(△は益)	511
補助金収入	△11,456
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,081,163
前渡金の増減額(△は増加)	264,806
売上債権の増減額(△は増加)	△18,708
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,110
未払消費税等の増減額(△は減少)	△60,109
契約負債の増減額(△は減少)	45,865
その他	56,063
小計	△519,436
利息及び配当金の受取額	28,092
利息の支払額	△49,074
補助金の受取額	10,023
法人税等の支払額	△69,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	△600,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△514,114
無形固定資産の取得による支出	△54,384
投資有価証券の取得による支出	△1,004
敷金及び保証金の差入による支出	△21,059
敷金及び保証金の回収による収入	38,588
預り保証金の返還による支出	△1,380
その他	△2,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,150,000
長期借入れによる収入	960,000
長期借入金の返済による支出	△858,005
社債の発行による収入	489,760
社債の償還による支出	△550,000
その他	△191,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,000,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,690
現金及び現金同等物の期首残高	1,114,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	958,557

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、この適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書計 上額 (注)3
	ホームセ ンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	7,786,805	5,002,446	5,234,578	182,034	18,205,864	3,119	18,208,984	—	18,208,984
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,786,805	5,002,446	5,234,578	182,034	18,205,864	3,119	18,208,984	—	18,208,984
セグメント利益 又は損失(△)	212,187	△218,067	365,572	73,042	432,735	3,119	435,855	△467,279	△31,424

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△467,279千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△467,279千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。